

## P A B F を戦って ― ジュニアチーム報告 ―

代表選手 今井 智士

2007年 日本ジュニアチーム（資格：26歳未満）

NPC : 寺本直志

マネージャー：高橋陽子

メンバー : 横井大樹－今井智士、三浦裕明－志賀元明、田中治輝－岡本崇宏



左から寺本直志 NPC、田中治輝、今井智士、横井大樹、三浦裕明、志賀元明、岡本崇宏

第45回PABF選手権は2007年6月3日から6月13日まで、インドネシアのバンドンで開催されました。日本ジュニアチームは9チーム中5位になり、ワールドユース出場をかけたプレイオフに進みましたが、シンガポールに勝った後、インドネシアに敗れてしまい、世界選手権への代表権を逃しました。

試合には代表経験のある横井－今井、三浦－志賀の2ペアが中心的に出場し、初代表の田中－岡本ペアの出場回数は少なめです。

予選ラウンドはオープンチームに比べ試合数も少なく日程的に楽でしたが、それでも、食事や環境の変化から体調を崩す者が続出し、やはり海外の試合では体調管理がとても重要だと実感させられました。みんながバタバタとへばっていく中、僕はずっとピンピンとしていたので、某さんから「君は元気だけが取り柄だね」と言われてしまいました。。。

今回、寺本キャプテンがオープンチームでプレイされていて、今までのようにユースチームにつきっきりでいられないため、連盟の高橋さんと仲村さんにサポートをお願いしながら、ラインアップの記入やスコアの確認など細々とした仕事は僕がしました。それでも夕食時には、寺本キャプテンはユースチームの集まりに参加してくださり、次の日の出番、相手チームのシステム対策、その日の反省などのミーティングをして頂きました。ちなみに、ホテルにある「オコー」という和食レストランがほとんどだったのですが、海外の食事があまり好きではない僕には「オコー」の存在はラッキー。毎晩食事に連れて行ってくださった高橋さん、仲村さんには大感謝です、ありがとうございました。

それでは、予選ラウンドの出場メンバー、成績、データムを載せながら、簡単に試合の模様を。対戦国、VP、IMPの順で、ペアの後の数字は他のテーブルとの比較でのIMPです。

### 初日

第1試合 タイ 11-19 (17-37)

NS 横井-今井 (+8) EW 田中-岡本 (-33)

初戦は残念ながら負けてしまい、スタートダッシュには失敗しました。僕のミスプレーのボードを一つ。

Board : 1 ♠ A109432

Dealer : North ♥ J

Vul : None ♦ Q105

♣ 1052

♠ Q

♥ 9632

♦ AJ32

♣ KJ94



♠ 875

♥ A1075

♦ K64

♣ 873

♠ KJ6

♥ KQ84

♦ 987

♣ AQ6

W N E S  
2♦\* P 2NT\*  
P 3♥\* P 4♠

//



タイの選手と1年ぶりの再会。VPを手土産に。

マルチ2♦オープンのおかげで点数のある方の4♠となり、リードは♠Q。2ウェイを当てる必要がなくなって喜んでしまい、単純に♠6個、♥2個、♣2個と思い、あまり考えずにハンドで勝って♠でダミーに渡し♥Jを流すと勝ち。仕方がないので♠でハンドに戻り、♥Kを流して♣を捨てたもののダウン。エントリーが不足しているのが最初はダミーで勝たなければならない、さらに♣フィネスだけでなく、♦Jのフィネスのチャンスもあることをプレイ前にもっと考えるべきだったと反省です。

第2試合 ニュージーランド 25-0 (112-15)

NS 横井-今井 (+50) EW 三浦-志賀 (+53)

ここ最近のPABFではみかけなかったのが未知数のチームでしたが、大勝して気分良く晩御飯を食べられました。負けるとチームの雰囲気も重くなるので、一日の最後は重要です。

### 2日目

第3試合 香港 6-24 (21-64)

NS 横井-今井 (-24) EW 三浦-志賀 (-20)

毎回好成績を残す香港に負けてしまい、後退。

第4試合 インドネシア 11-20 (51-71)

NS 横井-今井 (-21) EW 田中-岡本 (-7)

去年の世界大学選手権でこてんぱんにやられた相手です。今回も…。

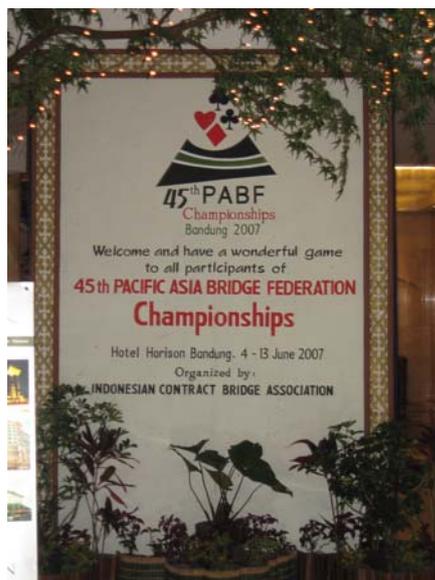
Board : 4 ♠ J53  
 Dealer : West ♥ A94  
 Vul : Both ♦ AQJ54  
 ♣ Q4

♠ K104 ♠ A8762  
 ♥ KJ102 ♥ 863  
 ♦ 102 ♦ 83  
 ♣ KJ32 ♣ 987

♠ Q9  
 ♥ Q75  
 ♦ K976  
 ♣ A1065



W N E S  
 P 1♦ P 2♥\*  
 P 3NT //



Sの2♥は♦のリミットレイズ。♠6のリードに9を出すと、10がカバーされ、♠Jの勝ち。  
 ♦Kでダミーに渡り♣Qを盗みに行きましたが、さっとあがられてダウン。  
 ♠を勝った後、まずは♦を5個取ってみると、Wにプレッシャーがかかります。そして♠を負けに行く  
 とWがスクイズされる可能性があり、こちらの方がより現実的な出来目でした。

第5試合 オーストラリア 18-12 (52-37)  
 NS 横井-今井 (+24) EW 三浦-志賀 (-3)

オーストラリアは去年のワールドユーススクール部門で4位に入賞したメンバーが加わり、去年の2位に続いて今年は優勝しました。この試合は積極的なゲームビッドが成功し、ミスディフェンスもあって日本の勝ち。

### 3日目

第6試合 BYE 18VP

第7試合 フィリピン 19-11 (67-47)  
 NS 三浦-志賀 (+21) EW 田中-岡本 (+4)

この日は一日休みだったので、午前オープンチームの林NPCの部屋にお邪魔し、有難い解説を聞きながらのビューグラフ観戦。午後はホテルのまわりをぶらぶらしての買い物。夕方からは、日本語を勉強中のインドネシアの学生にガイドをお願いして、繁華街へ観光。リフレッシュしました。

### 4日目

第8試合 シンガポール 20-10 (41-19)  
 NS 横井-今井 (+7) EW 三浦-志賀 (+22)

去年ぶっちぎりで優勝し、ワールドユースでも3位に入賞したシンガポールですが、今年はメンバーががらりと変わり、去年ほどではありませんでした。  
 途中、全然出来ないゲームを作らせてもらい、キレた相手が飛び出していってしまうという一幕もありましたが、最後はフレンドリーに別れました。

第9試合 台北 12-18 (24-37)

NS 横井一今井 (-7) EW 三浦一志賀 (-7)  
 台北とはBBOでよく練習をするので、よく知っている相手でした。

Board : 12 ♠ A10962  
 Dealer : West ♥ J  
 Vul : N-S ♦ 7  
 ♣ KJ8742

♠ 8754	N	♠ Q3
♥ K93	W	♥ A102
♦ Q832	E	♦ AK94
♣ 93	S	♣ AQ105

♠ KJ  
 ♥ Q87654  
 ♦ J1065  
 ♣ 6



女の子が気になって、カードプレイが上の空のY君

W N E S  
 P 2♠\* X P  
 2NT\* P 3NT //

どちらのテーブルもオークションは上記のように進み、♠をリードすれば終わりでしたが、どちらも♣7のリード。ハンドの9で勝って、もう一度♣のフィネスをしたところまで両者同じです。♦K、Aとキャッシュしてみると、残念ながら♦は4-1ブレイク。ここまでの、Nのハンドは5 1 1 6であることがわかり、台北チームのWはNの♥アナーシングルトンにかけ、♥Aをキャッシュし、♥をフィネスしてメイク。日本チームはSが♥の両アナーを持っていてスプリットしないことを期待し、いきなり♥9でフィネスしたもののダウン。

こうして、前半戦は140VP、4-5位タイで終わりました。

### 5日目

第10試合 香港 16-14 (43-36)  
 NS 横井一今井 (±0) EW 三浦一志賀 (+11)  
 前半のお返しをと思っていたのですが、ほんの少しだけ。

第11試合 フィリピン 25-2 (90-19)  
 NS 横井一今井 (+48) EW 田中一岡本 (+42)  
 前半に続いて快勝。これで3ペア共データムはプラスに。

### 6日目

第12試合 シンガポール 17-13 (60-51)  
 NS 横井一今井 (+26) EW 三浦一志賀 (-11)  
 ここにも連勝。

第13試合 タイ 20-10 (66-42)  
 NS 三浦一志賀 (+6) EW 田中一岡本 (+13)  
 これで後半戦は4連勝。

第14試合 ニューゼaland 6-24 (19-65)  
 NS 横井一今井 (-28) EW 田中一岡本 (-14)

前半大勝したニュージーランドに大敗してしまいブレーキ。  
リードが得意な僕（阪大の伝統らしいです）が2ボードも3NTのオープニングリーダーになっ  
てしまい、両方見事に敵のメインスーツを当ててしまい、作らせ。

## 7日目

第15試合 BYE 18VP

第16試合 オーストラリア 9-21 (26-57)

NS 横井-今井 (-15) EW 三浦-志賀 (-20)

14点と11点が向かい合った♠8枚フィットのハンドで向こうは2♠、こちらは4♠X。  
♠は5-0ブレイクなので8トリックまでなど、ハンドを見たのかというような不幸なボードも  
あり負け。

第17試合 台北 20-10 (55-32)

NS 横井-今井 (+16) EW 三浦-志賀 (+3)

この時点ですでにプレイオフ進出は決まっていますが、表彰台を目指して、競争相手との直  
接対決で稼ぐ必要があります。台北にはまずまずの勝ち。

第18試合 インドネシア 18-12 (49-33)

NS 横井-今井 (-9) EW 三浦-志賀 (+23)

Xの飛び交う派手な試合でしたが、これも制して台北の結果待ち。しかし、台北も勝ち。

というわけで、最終成績は、253VP (AVE240)、5位でした。

1位	オーストラリア	296
2位	香港	288.5
3位	台北	262
4位	インドネシア	258
5位	日本	253
6位	シンガポール	223
7位	ニュージーランド	191.5
8位	フィリピン	182
9位	タイ	176

予選ラウンドの後には、アジア地区ではないオーストラリアとアジアで1位の香港を除いた、上  
位4チームで残り2つのワールドユースのチケットをかけたプレイオフが始まりました。

まず2位と3位が対戦し、勝った方が代表に決定。負けた方は4位対5位の勝者と対戦し、勝っ  
た方が代表という方式です。

アジアで4位の日本は、5位のシンガポールと16ボード×4セグメントのプレイオフへ。

ここからは経験も考慮して、横井-今井、三浦-志賀の4人で戦うことになりました。

第1セグメント 17-24

第3セグメント 25-43

第2セグメント 27-39

第4セグメント 50-8!

最終スコアは119-114となり、大逆転勝ちでした。

最初は「あれ？ 負けちゃったなあ」という程度だったのですが、次には「これはやばいんじゃない？」、最後には「絶体絶命？」という風に危険レベルはどんどん上がっていきました。最後の  
16ボードは、寺本キャプテンの「稼ごと無理をするな」という言葉を言い聞かせて、みんな  
が最後まで集中力を切らさずに粗いブリッジをしなかったのが、逆転につながったのではないかと  
思います。

逆転につながったボードを1つ。

Board : 26 ♠ 106  
 Dealer : North ♥ K54  
 Vul : None ♦ AK96  
 ♣ 10754

♠ J9752  
 ♥ 98  
 ♦ —  
 ♣ AKQ963



♠ 843  
 ♥ AQJ73  
 ♦ QJ8  
 ♣ J8

♠ AKQ  
 ♥ 1062  
 ♦ 1075432  
 ♣ 2

W	N	E	S
	P	1♥	P
1♠	P	1NT	P
2♣*	P	2♠	P
4♠	P	P	X
//			



オール阪大。俺もまだユースと言い張る人は誰？

Wはゲームトライをするまでにとても時間をかけたので、自分で3トリックも持っていることもあり、何か起こらないだろうかと思ひ、Xで勝負しました。無理をしてはいけませんが、37IMP差もあると勝負をする必要はあります。

パートナーから♦Aがリードされた時はああよかったと安心したものの、そうおいしい話があるはずもなく、ディクレーラーはラフ。ここで♠を負けに来て♦を続けると、トランプにコントロールがないWにはプレッシャーがかかります。結果的には♥のフィネスもきいており、メイクするのですが、Wは諦めて♦を勝たせてくれ、その後も♦でのパンクが間に合い2ダウン。裏のテーブルでは♠で勝ったSが♥！を返してしまい、楽々メイクでした。

大逆転の喜びもそこそこに、すぐにインドネシアとのプレイオフが始まりました。

第1セグメント 19-63  
 第2セグメント 17-44

第3セグメント 36-26  
 第4セグメント 30-31

最終結果は102-164で負け。2匹目のドジョウはみつからず、当初の目標であった代表権を逃してしまいました。あの異様な雰囲気やったシンガポールとのプレイオフの疲れから、ミスが続いてしまった感があります。やはりこういう長丁場の試合では体力がとても重要です。

僕は、これでユースの代表として試合に出るのは4回目になりますが、今回は試合までの半年間でパートナーとは大きな試合で約600ボードをプレイし、海外にも行くなど、今までで一番準備をしてきたので、最後までブリッジを目一杯楽しむことが出来ました。良い結果は出ませんが、この経験を後輩に伝えて、彼らにより良い結果を任せたいと思います。

最後になりましたが、ユースとしてブリッジをしていく上で、たくさんの方々大変なお世話になっており、とても感謝しています。みなさん、ありがとうございます。特に、ユースの試合以外でもお世話になりっぱなしの寺本キャプテン、ユースのために尽力して頂いている連盟の高橋さん、仲村さん、そして、地元大阪BCでお世話になっている佐々部さんには、お礼申し上げます。